

●施策名

【施策12】自然に親しみ、自然を尊重するところをはぐくみます

(関連指標：指標53～指標54 (P55))

- i 豊かな自然に親しむ体験活動の推進
- ii 低炭素・循環型社会に対応した環境教育の推進

●代表的な取組の進捗状況

i 豊かな自然に親しむ体験活動の推進

○ ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業

震災の経験を踏まえ、再発見した郷土の良さを伝え合い発信していくような交流活動を行うとともに、充実した自然体験活動を行う機会を提供し、豊かな人間性と生きる力の育成を図る。



自然体験活動の様子

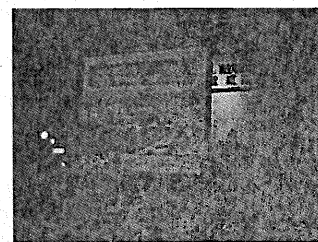
(H26実績)

- ・ 小中学校自然体験・交流活動等支援事業
補助申請 523 件・補助対象人数 28,127 人
- ・ 幼稚園・保育所自然体験活動等支援事業
補助申請 463 件・補助対象者数 50,147 人
- ・ 社会教育団体自然体験活動支援事業
補助申請 8 件・補助対象者数 418 人
- ・ ふくしまっ子体験活動応援補助事業
補助申請 2,723 件・補助対象者数 60,090 人
- ・ 自然の家体験活動応援事業参加人数
会津自然の家 389 人、郡山自然の家 866 人、いわき海浜自然の家 1,176 人

ii 低炭素・循環型社会に対応した環境教育の推進

○ ふくしまから はじめよう。再生可能エネルギー教育実践事業

発達段階に応じて再生可能エネルギーと資源の利用に関する意識の醸成を図り、主体的に行動する態度や資質、能力を育成するため、教員の大学における研修、エネルギー学習教材の開発、専門家の派遣、成果の普及・啓発等を大学に委託し、モデル校において学習プログラムの実践を行う。



成果発表の様子

(H26実績)

県教育委員会が小学校・中学校・高等学校それぞれ3校合計9校をモデル校に指定し、事業実施をいわき明星大学に委託した。大学における教員の研修やモデル校での発達段階に応じた学習プログラムの実践を行い、フォーラムにおける成果の発表や実践事例集の作成・配付を通して成果の普及・啓発を図った。

●問題点・改善等が必要な項目

① 豊かな自然に親しむ体験活動の推進

- ・ 老朽化している自然の家の施設整備。

② 低炭素・循環型社会に対応した環境教育の推進

- ・ 児童生徒の地球温暖化の問題への理解の深化及び主体的な取組の促進。

●取組の方向性

① 豊かな自然に親しむ体験活動の推進

- ・ 児童生徒が豊かな自然に親しむ体験活動を行える場として、自然の家の施設の整備を図るとともに、引き続き適切な管理運営に努める。

② 低炭素・循環型社会に対応した環境教育の推進

- ・ 児童生徒が、地球温暖化問題への理解を深めるとともに、本県の自然環境を理解し、環境の保護に向けて主体的に行動できるよう、環境共生課と連携し、学校が取組みやすい方法を考え、児童生徒の主体的な取組を促す。